

令和4年度 園の自己評価

静岡ホーム保育学園

《保育園運営方針》

	A
問1. 園の運営の基本的な考え方(理念・方針)を理解し、保育を計画していると思うか	★★★
問2. 保育園運営の基本的な考え方(理念・方針)に、共感し、職員間で共有を進めていると思うか	★★★
問3. 保育サービスは、保育園運営の基本的な考え方(理念・方針)と一致しているか	★★

キリスト教の精神「隣人愛」に則り、お互いを認め合うことを大切に考えている。ノンクリスチャンの職員がほとんどだが、子どもたちの「信じる気持ち」を大切に育て、創設者の思いを引き継いでいきたいと思っている。また、自分たち職員も神に招かれた者との思いで、日々与えられた使命に向き合っていく。

会議・打ち合わせ等を定期的に行い、情報の共有体制を整えているが、職員数も増え、勤務体制も様々なので、十分に周知されない時もある。

《施設環境》

	A
問4. 保育室など子どもが落ち着いて過ごせる環境が整っているか	★★
問5. 子どもの発育や意欲を促すような遊具・玩具が十分に用意されているか	★★★
問6. 災害時や外部からの侵入など、施設の安全対策はとられているか	★★

保護者の方からも高評価をいただいたが、「明日も続きができる環境」、ゆったりとした雰囲気のある園舎内も、保育・教育に良い影響を与えている。

園舎内外とも広々とした環境で、駐車場も広く、子どもはもちろん保護者の方にも利便性の高い環境だと思う。しかし、敷地内からでたすぐの交差点の危険性が高く、駐車場内でのヒヤリハットも多い。通用門の登降園時の開閉に関する課題もある。日々職員の意識が低下しないように安全対策は常に課題としていきたい。

《毎日の保育》

	A
問7. 登園時、職員は笑顔で迎えているか	★★★
問8. 子どもたちが食事の時間を楽しめるよう、献立表やフードボックス(写真)で給食の内容を伝えたり、食育を取り組んでいるか	★★
問9. 戸外で遊ぶ機会が多い(散歩も含む)か	★★
問10. 子どもたちの発達に合わせた豊かな感性を育む活動・遊び等が行われているか	★★★
問11. 担当児の良いところや個性を認めているか	★★★
問12. 保育士や職員の保育姿勢は共有されているか	★★
問13. お迎え時に保護者に1日の様子を話したり、連絡ノートなどで伝えているか	★★★
問14. 保育園生活は充実していると感じているか	★★★
問15. 保護者の急な残業や不定期な業務の際に、閉園時間までは延長保育に柔軟に応じているか	★★★
問16. 保育中の発熱など病気の際の保育園の対応(保護者への連絡や医療機関の受診等)は適切に行われているか	★★★
問17. 保育園で起きた事故・けがに対して保育園は責任を持って対応しているか	★★★

「笑顔での挨拶」は、コミュニケーションの始まりであるのですべての職員が心掛けるよう促している。保育キャリアも違う保育士の集まりなので、情報の共有や保育水準を維持しての難しさを感じる時もあるが、良好な関係を築いていけるよう、全職員での園内研修（R4は環境・育児担当制）や、6つの部会での学び、公開保育など、さまざまな研修に取り組んでいく。

コロナ禍ということもあり、クッキングが思うように行えなかったので、食育に力を入れていきたい。

自分たちではやっていると思っけていても、保護者には「もっと」と思っけていらっしやる方もみられるのでその期待に応えていきたい。

《保護者支援 地域における子育て支援》

	B
問18. 園便りやクラスだよりその他の方法で、園の行事や活動の様子を定期的に知らせているか	★★★
問19. 子育てに関する気がかりな点や悩み等について、気軽に個別相談できるように配慮しているか	★★
問20. 保護者の子育て、保育に対する考え方を理解しようとしているか	★★★
問21. 行事日程は、保護者が参加しやすく、負担がかからないように配慮しているか	★★

コロナ禍でも、行事を縮小して開催してきたが、流行の波を掻い潜っての為、周知の連絡が遅くなりがちで保護者には心配をおかけした。

毎月の便り以外に、地域への広報誌『そらいろのたね』の発行もできた。乳児の行事『ミモザふえすていばる』も3年目になり内容も充実してきた。発信の工夫を重ねていきたい。

《地域との交流》

	B
問22. 園の行事等を通して、地域との交流が行われていると思うか	★★

七夕まつりでは、妙見神社に園児の七夕飾りを飾っていただき、地域の方にも見ていただけた。井宮町と合同で「秋フェスタ」が実施することができた。まだまだではあるが、交流を再開し始めることが出来た。

《要望・意見や不満・トラブルへの対応》

	B
問23. 不満やトラブルに的確に対応できていると思うか、	★★
問24. 保護者の要望・意見をもとに改善が行われているか	★★

コロナ感染での園自粛のお願い、物価高騰など、子育てしにくい時代の保護者の思いを汲んでいきたいと思っているが、難しい時もある。反対に、保護者に励まされ、感謝され、私たちの方が助けていただいている事に気づかされている。

一緒に子育てしていく仲間として、職員の事を「名前で、〇〇さん」と呼んでいただくことも定着してきた。保育事故の暗いニュースが目立つ昨今だが、まずは保護者の声を聴く、そして、声を聴きあう関係性を、日々の関わりの中で関係性を深めていきたい。

統合的に見て、親子遠足やミモザふえすていばるなど、いろいろな行事を保護者に参加してもらおう中で、子どもの育ちの気づきを増やし、園と家庭とが一緒に子育てをつないでいく1年になった。